

<http://www.jin-japan.org/kidsweb/index-j.html>

今回は海外の小・中学校の生徒たちを対象として、日本の伝統文化や流行事情などを日本語と英語、その他のいろいろな言語で紹介しているホームページ「キッズウェブジャパン」(図1)を取り上げます。



図1 「キッズウェブジャパン (日本語版)」 トップページ

「キッズウェブジャパン」は、1. バーチャル・カルチャー(日本文化体験) 2. キッズギャラリー 3. ゲーム 4. 流行通信 5. エコキッズ 6. 目指せ! 明日の巨匠 7. 学校へ行こう 8. キッズどこでも探検隊という8つのコーナーによって構成されています。さらに、各コーナーではさまざまな分野における日本の代表的なものを取り上げています。ここでは、そのうちの3つのコーナーについて簡単に紹介します。

まず、「バーチャル・カルチャー」コーナーでは折り紙や生け花、書道、お琴、盆栽、ふくわらい、浮世絵、やぶさめと弓道、日本人と着物、柔道について、その歴史や種類、作法などを分かりやすく説明しています。それだけではなく、ここで取り上げられている折り紙、生け花などもすべてバーチャル体験できるようになっています。たとえば、折り紙のところをクリックすると、日本人なら誰でも一度は折ったことのある、「鶴」の折り方をゲーム感覚で体験できます。折り方をまったく知らない人でも、バーチャル体験を通して自分で折れるようになるでしょう。折り紙を持っていないければ、ダウンロードコーナーもあるので、折り線が入った紙を印刷してすぐ使えるようになっています。日本の折り紙を教えるのには大変参考になるでしょう。

また、日本の伝統的な遊びの一つ「ふくわらい」(図2)もバーチャルで挑戦できます。あなたも「バーチャルふくわらい」に挑戦してみませんか。バーチャル体験をするには、Shockwave®という専用ソフトが必要です。これは、無料でダウンロードできるフリーウェア・ソフトですので、インターネットからご使用のパソコンに取り込んでから、バーチャル体験をしてみてください。



図2 バーチャルカルチャー「ふくわらい」

次に、「流行通信」のコーナーでは、年に数回、日本の子ども達の間で流行っていることを発信しています。取り上げられている話題も音楽、ファッション、スター、タレント、アニメなど実に豊富です。また、1998年から現在までの流行が見られるので、日本の流行事情や流れなどを紹介するには便利でしょう。ちなみに、2003年1月～3月の「流行通信」はテレビアニメ「ワンピース」を取り上げています。このテレビアニメは海賊王を目指して海に出た少年ルフィ(主人公)が、いろいろな事件や事故に遭遇しますが、そのたびに個性豊かな仲間と助け合って旅を続ける話です。日本のアニメ文化が世界中で人気を集めているこの頃、授業の中で日本のテレビアニメを紹介したり、この紹介ページを見せたりすることによって、学習者たちの日本語学習の動機付けにもなるでしょう。

最後に、皆さんは生徒から「日本の小・中学校にはどんな授業がありますか」「日本の生徒達はどんな課外活動に参加していますか」など、よく聞かれますか。

「学校へ行こう」のコーナーでは、日本のいろいろな小・中学校の授業や課外活動、年中行事、友達との話題などを写真付で紹介しています。また、それぞれの学校についてコメントを送ることもできるので、学習者に感想文を書かせてメールで送ると、日本の小・中学生との交流も生まれるでしょう。